



2019年10月11日

各 位

上場会社名 東京インキ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 大橋 淳男  
 (コード番号 4635)  
 問合せ先責任者 管理部門理財部長 中村 真次  
 (TEL 03-5902-7652)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,800	430	500	355	131.37
今回修正予想(B)	21,000	180	260	165	61.07
増減額(B-A)	△1,800	△250	△240	△190	
増減率(%)	△7.9	△58.1	△48.0	△53.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年3月期第2四半期)	21,978	460	573	359	132.87

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	1,250	1,400	1,000	370.06
今回修正予想(B)	43,600	900	1,070	700	259.07
増減額(B-A)	△3,400	△350	△330	△300	
増減率(%)	△7.2	△28.0	△23.6	△30.0	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	44,628	1,238	1,435	1,012	374.82

### 修正の理由

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、売上高はインキ事業が出版・商業印刷の減少に伴う想定以上の市場縮小化、販売競争の激化などにより減少、化成品事業および加工品事業は一時的な需要減退等が影響し、前回発表予想を下回る見込みであります。利益面につきましては、インキ事業、化成品事業における原材料価格の上昇および基幹システム変更に伴う一時費用の増加等により営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想から大幅に減少する見込みであります。

通期の連結業績予想につきましては、引続き当社グループを取り巻く事業環境が厳しい状況で推移することが見込まれます。第3四半期以降は当初見込みを達成すべく引続き努力してまいります。売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益はこのような事業環境を踏まえて修正いたします。

以上